

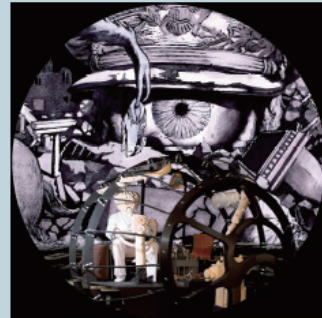
ART

戦争を知らない世代のための「核」の物語。

薦谷 楽「ワープドライブ WARP DRIVE」

ニューヨークを拠点に、核の歴史的悲劇をテーマに制作を続ける薦谷 楽。日本と米国では異なる視点で語られがちな核問題を巡る調査研究を通して、国境を超えて共有されるべき物語を構築する。日本で初の個展では、大戦時アメリカに建設された日系人強制収容所のバラックと、戦後に広島と長崎に建てられたバラックを接合した構造物に映像作品が投影される。そこに跋扈する動物たちのキャラクターは多様な社会的役割を持つ核開発の関係者や被害者だ。薦谷は彼らを深く観察し、既存の意味や理解を超えた鮮烈な見解を表明する。戦後77年経ったいま、戦争を知らない世代が自分たちの問題として戦争を捉えるための新しい物語を紡ごうとする在米日本人作家の挑戦に圧倒されるはずだ。

●開催中～10/2 ●原郷の回丸木美術館(埼玉・東松山) 9:00～17:00 9月 月一 一般¥900 ☎0493-22-3266 <https://marukigallery.jp>



FENELKA'S HEAD / 丸木 楽 © Chie Sumiyoshi

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催時期および開催時間が変更となる場合があります。
最新情報は各展覧会のHPをご確認ください。

text : Chie Sumiyoshi 160

Sumiyoshi, Chie. "戦争を知らない世代のための「核」の物語。 [J]" *Madame Figaro Japon / October issue*, August 2022, p.160